

## 開 催 記 録

## (審査委員会)

1 日 時 平成 27 年 3 月 24 日 (火) 14:00 ~15:30

2 場 所 県庁 3 階 第 2 委員会室

3 協議事項

(1) 平成 25 年度運用実績について

(2) 平成 26 年度運用状況について

4 協議結果

システムをより良いものとするため、以下のような議論があった。

(1) 平成 25 年度運用実績について

- ・燃料転換などがあると、単純比較が困難になることから、CO<sub>2</sub>排出量に換算するなどし、比較できると、より分かりやすい。
- ・民間で上場している企業であれば、ほぼペーパーレス化を実践している。現場の日報など、どうしても必要な作業のみ紙媒体で運用している。会議の資料などは、各人がタブレット端末にダウンロードして閲覧するのが一般的になりつつある。
- ・県の会議でも重要なものだけ配布するという形で良いのではないか。
- ・タブレット端末を環境政策課でモデル的に導入し、横展開する方法もある。

(2) 平成 26 年度福井県庁環境マネジメントシステム運用状況について

- ・LED照明への交換や、雨水の利用、太陽光パネルを設置するなどの取組みが必要。また、例えば、削減努力で100万円削減した場合、50万円を庁費として返上し、50万円を事務費として当該所属に配当するなどの知恵も必要。
- ・省エネ努力によって、浮いた金額を次の省エネ投資(LEDへの交換など)へ回せると、さらに結果が付いてきて、モチベーションアップにも繋がる。
- ・日野川地区水道管理事務所について、年々増えてきているので、目標設定しないと取組みが甘くなる。エリアごとに原単位の評価を入れても良いのではないか。
- ・基準や目安、方法論を簡単に示すことが良い取組みではないか。具体的にどうやって取り組めば良いかということが伝わっていないと、実践する側は実践し難い。